

ささえあい

No.
85

さえき社協だより
ボランティアセンターだより
編集・発行:平成23年(2011年)10月
社会福祉法人 広島市佐伯区社会福祉協議会
〒731-5135 広島市佐伯区海老園2-5-28
佐伯区役所附属棟
TEL (082) 921-3113・FAX (082) 924-2349
E-mail: saeki@shakyohiroshima-city.or.jp

さえき福祉フェスタ2011開催!!

バリアフリーをめざして
～だれでも参加できるように～



「さえき福祉フェスタ」は、いろいろな体験を通じて、多くの佐伯区民の皆さんに障がいについての理解や「福祉」を身近に感じていただくことを目的として開催します。
お気軽にご参加ください。

佐伯区民
まつりと
同時開催!

日時 平成23年11月13日(日) 10:00～15:00

場所 佐伯区民文化センター(2階大会議室)

内容 ★体験コーナー(点字、手話、アイマスク体験、視覚障がい者体験など)

★福祉クイズ(チャレンジした人には、もれなくお菓子をプレゼント!)

★展示コーナー(地区社会福祉協議会やボランティアグループの活動紹介、佐伯区内の作業所紹介など)

★車椅子コーナー(車椅子の展示など)



福祉
クイズ

「手引き」の
体験を
してみよう

アイマスク
体験



福祉クイズに
チャレンジ
してみよう!



点字
体験

点字で
自分の名前を
書いて
みよう

わたしのまちのほっとサロン

サロン活動は、高齢者対象のサロンから始まりましたが、今ではいろいろなサロン活動に広がってきています。参加者・運営方法など、その多様さが魅力です。

このたびは、楽々園学区の自宅開放型のサロンをご紹介します。

「どんぐりころころ今日は…」と、どんぐりころころの替え歌の合唱から始まる楽々園一丁目“どんぐりサロン”は、「昨日は一日中誰ともお会いしたり、おしゃべりをしたりしなかったのよ」と町内の一人暮らしの高齢者の方が、ぽつんともらされた一言は、現在の高齢化社会の一端を垣間見る思いでした。

高齢者を対象とした会合は、公民館やその他の公共機関で計画されてはいますが、「公民館までは少々遠くて行けないのよね」と身体的な理由で出席できない方も耳にしています。気軽に集まってお茶を飲んだり、おしゃべりできる場所があればと願っていた矢先の事でした。「私の家でよかったですらどうぞ使ってくださいませんか」とありがたい申し出がありました。

早速、学区の荒井会長さんのご支援をいただき、開設の運びとなりました。手探り状態ではありますが、サロンを心待ちにしてくださる出席者全員が主役の会としたいものです。

レポート:どんぐりサロン 世話人



(楽々園一丁目どんぐりサロンにて)

ふれあい・いきいきサロンとは?

在宅高齢者のみなさんが、住み慣れた地域で生きがいを持ち健康で楽しい生活を送っていただくことを目的として、地域住民とボランティアと一緒に仲間づくりや交流の場づくりをすすめ、高齢者の孤独感の解消や閉じこもり防止など介護予防の推進を図る活動です。



佐伯区内では、年々サロンが増えてきており現在93か所となっています。サロンに興味のある方、関心のある方、参加してみたい方お気軽に、佐伯区社会福祉協議会までご連絡ください。

お問い合わせ先 TEL:921-3113

訂正とお詫び

ささえあい84号で掲載しました、平成22年度決算及び平成23年度予算の収支に誤りがありました。正しくは下記のとおりとなります。

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。今後とも、よろしくお願いいたします。

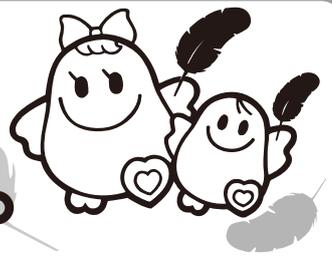
【平成22年度 佐伯区社協収支決算】 (自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日)

収入の部	正	合計121,101,261円	誤	合計126,289,069円
支出の部	正	合計121,101,261円	誤	合計128,423,479円

【平成23年度 佐伯区社協収支予算】 (自:平成23年4月1日 至:平成24年3月31日)

収入の部	正	合計144,596千円	誤	合計143,976千円
------	---	-------------	---	-------------

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。



本年も“じぶんの町を良くするしくみ”をスローガンに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、共同募金運動を実施いたします。

広島市共同募金会佐伯区分会におきましても、「たすけあいの心」福祉の充実のために、みなさまのご理解と一層のご協力をもとに募金目標額13,551,000円の達成に向かって努力してまいります。

およせいただいた募金は、地域福祉の充実のため、佐伯区では主に、右記のような取り組みに活かされています。

■ふれあい配食訪問活動(まごころ弁当)

一人暮らしの高齢者等の見守りを主に、手作り弁当を持って訪問します。

■さえき福祉フェスタ

みなさんが障がいについての理解や「福祉」を身近に感じていただく、だれでも参加できるまつりです。

■地区社会福祉協議会活動として

地(学)区社協で進めている近隣ミニネットワークづくり(見守り活動)、地区ボランティアバンク(支えあい活動)、ふれあい・いきいきサロン(ふれあい活動)の取り組みの支援などに活用させていただいています。

賛助会費にご協力ありがとうございました。



佐伯区社協では、「あなたとつくる みんなでつくる ささえあいのまち」をスローガンに、地域でのささえあいの仕組みをつくる推進役・支援役として、また、地域の皆さんや諸機関・団体と手を携えて、そこに住む一人ひとりが主役となった「ささえあいのまちづくり」を進めています。

こうした本会の事業推進に対しまして、ご理解とご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

4月1日～9月30日
(受付順)

なかもと しのぶ
中本 忍様(城山)
ひろおか いさむ
平岡 勇様(石内)

はしもと てつお
橋本 哲夫様(五日市)
あらい ひろゆき
荒井 博幸様(美の里)

ひだか よしゆき
日高 義幸様(八幡東)
こいけ さとし
古池 里司様(海老園)

匿名希望 11名

愛の灯

温かいご寄附、ありがとうございました。

お寄せいただいたご寄附は、佐伯区の社会福祉事業のために使わせていただきます。

7月1日～9月30日(受付順)

香典返礼
として

なかはら むつお
中原 睦夫様(廿日市市)

ちば あけみ
千葉 明美様(河内南)

さと ゆきえ
里 幸江様(五日市中央)

このひとインタビュー!!



広島市城山・五日市観音地域包括支援センター
(中央が徳毛新太郎さん)

今回は、地域包括支援センター第2弾!ということで、『広島市城山・五日市観音地域包括支援センター』をご紹介します。こちらのセンターは、平成23年8月26日に運営母体の施設内から、地域に活動拠点を移されました。

地域に拠点ができたことで、これまで以上にさまざまな相談が入ってきているとのこと。とてもアットホームな雰囲気の広島市城山・五日市観音地域包括支援センターの「今」について、センター長の徳毛 新太郎さんにお話を伺いました。

Q1 地域で拠点を構えて、これまでと変化はありますか?

地域の方に気軽に来てもらえるようになりました。これまで、『地域包括支援センター』をご存じなかった方にも、知ってもらえる良い機会になったと思います。事務所の窓に貼りだされているポスターをじっと見てくださる方もいらっしやいます。(※事務所の窓には手作りのポスターが貼られ、包括支援センターがどのようなところなのか、わかりやすい紹介がされています。ぜひご覧ください。)

Q2 どのような相談があるのでしょうか?

地域の「よろず相談」的な役割ですかね、さまざまな相談がありますよ。たとえば、近年、地域の高齢化が進んできています。そのため、老老介護の相談が増えています。

また、近隣に何か支援が必要なのでは?と思われる方がいらっしやるということで、相談に来られる場合もありますね。この場合は、個人情報の問題もあるため、配慮も必要ですが、地域の方の見守りの目ならではの相談ということで、素敵なお地域だなと思います。

Q3 日頃、相談を受ける中で感じることを教えてください。また、心がけていること、ここは他に負けないぞ!というところがありますか?

地域包括支援センターに相談が入ることはう

れしいのですが、その中で『家族関係』の希薄さを感じています。これからは、地域のつながりと同時に、家族のつながりも包括的に支援しないといけないと思っています。

心がけていることは『機動力』です。他に負けない点もここだと思っています。相談が入ると、「まずは訪問」「会って、話すこと」をモットーにしてきました。それは、地域に出た「これから」も変えずに続けていきたいと思っています。

また、5名の職員がいますが、ひとりで抱え込まないで、周りの職員と情報を共有し、包括全体で問題に取り掛かることにしています。「ひとりで抱え込まないで」というのは、相談に来られた方や地域の方にも、お話しさせてもらっていることですが、たとえ、解決が難しいことでも、多面的に問題をとらえることができるため、自分一人では気づかなかったことに気づかされることもあります。

Q4 地域の方へ、メッセージをお願いします。

なじみのある地域で、お互いがお互いを支え合い、皆が住みやすい地域にしていくための、お手伝いをさせてもらいたいと思っています。ひとりで抱え込まずに、お気軽にご相談ください。

■問合せ先

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

広島市佐伯区千同一丁目30-6 高東ビル1階

TEL (082) 924-7755

お願い

車でお越しの際は、事務所前のスペースへ駐車してください。
くれぐれも近隣の方々のご迷惑にならないようにお願いします。



日頃の介護疲れを癒しませんか？

認知症・寝たきりなど、在宅で介護している方を募集します。
食事・温泉を楽しみながら、介護について情報交換しましょう。

在宅介護者
～リフレッシュ行事～

申込受付(要予約)
11月1日～11月8日

- 日時** 平成23年11月17日(木)10時15分～15時
- 場所** 湯来ロッジ(佐伯区湯来町多田2563-1) バスが佐伯区役所から発着します。
- 対象** 佐伯区在住で、認知症や寝たきりの方を、現在、自宅で介護中の方。
または、2年以内に介護を経験されていた方
- 人数** 先着20名(要予約)
- 参加費** 1,000円 *当日集めます
- 主催** 佐伯区社会福祉協議会
- 共催** 佐伯区健康長寿課・佐伯区認知症の人と家族の会

—— 申込先 ——
佐伯区社会福祉協議会
TEL:921-3113
FAX:924-2349

石内福祉センターを紹介します。

ミュージックルームやトレーニングルームもあります。

石内福祉センターは、社会福祉、その他住民の福祉の維持向上のための各種相談・教養・レクリエーション・会議等の場を提供し、生活文化の向上と社会福祉の増進を図るため、設置しているものです。

- 休館日／火曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日(1月2日を除く)、8月6日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
- 会館時間／9:00～22:00
- 施設内容／施設の目的内での使用は原則として無料ですが、目的以外で使用される場合は使用料金をいただきます。
- 申込方法／目的範囲内で使用する場合は使用日の3ヶ月前から、その他の場合は使用日の1ヶ月前から所定の申請書を提出。

一度来て
みんざい。
待ってます。



所在地、問い合わせ先／佐伯区石内南1丁目5-1 TEL:928-3277



消防訓練をしています。

石内福祉センターでは、佐伯消防署の職員2名の立会いのもとに、平成23年5月27日に自衛消防訓練を行いました。

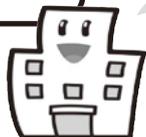
非常ベルが鳴るなか、利用者の皆様にも協力していただき、貴重な体験となりました。



佐伯区ボランティアセンターを知っていますか!

開設時間

月曜日～金曜日
8:30～17:15

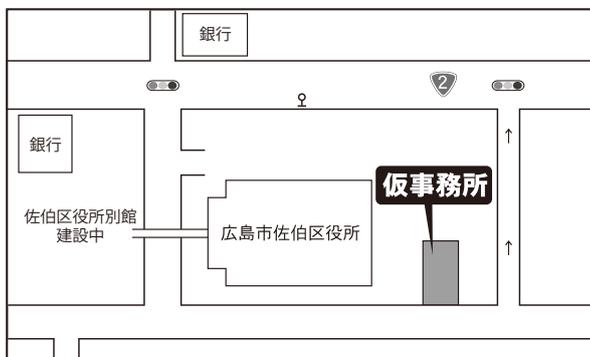


♥相談を受けています

- ・ボランティアをしたい
- ・ボランティアさんに助けてもらいたい

♥研修をしています

- ・ボランティア入門講座・体験講座の企画や実施
- ・ボランティア研修会やボランティア交流会の開催
- ・ボランティア活動に関する情報提供…など



その他に、ボランティアグループ間の連絡調整(グループ連絡会の支援)やボランティア活動保険の手続きなども行っています。

♥ボランティアについてのお問い合わせ

佐伯区社会福祉協議会(佐伯区海老園2-5-28)
佐伯区ボランティアセンター

TEL:921-3360 FAX:924-2349

～地域と学校の橋渡しを目指します～ やさしさ発見プログラム事業

小・中・高等学校や地区社協等において実施される福祉体験学習への講師派遣、調整、企画について、協力を行っています。

1回きりの授業やイベントだけに終わらず、福祉学習をきっかけに、自分の「思い」が相手への「思いやり」の行動になればと、相談・調整に応じています。

学校の生徒さんが地域でのつながりを感じるよう、地域活動が子どもたちの学びの場になるように事業を展開しています。お気軽にご相談ください。

- 例
- ◎点字体験学習(点字グループによる学習協力・当事者とのふれあい)
 - ◎盲導犬ユーザーの講演会
 - ◎アイマスク体験・手引き体験(朗読グループによる学習協力)
 - ◎手話体験学習(手話サークルによる学習協力・当事者とのふれあい)
 - ◎地域の老人施設・障害者支援施設の講義・車椅子実習
 - ◎地域包括支援センターと協力して、認知症サポーター養成講座 など



また、福祉体験機材の貸し出しも行っています。ご利用ください。

貸出可能機材

- ①車椅子(自走用・介助用)
- ②アイマスク 35個
- ③点字板 30個
- ④視覚障害体験めがね(プレート) 3個
- ⑤高齢者・障害者疑似体験教材セット 8セット(おもり入りのベスト、ゴーグル)

お問い合わせ 佐伯区社会福祉協議会 TEL:921-3113